■「みんなで描こう泉佐野の未来」応募作文

●第三中学校　３年　西野　世起

泉佐野の未来

　正直、僕は今まで泉佐野の未来について考えた事もありませんでした。自分の住んでいる町がどんな状況にあるのか市報を読んでみたり家族に聞くことにしました。

　まず驚いたのは現在泉佐野市は累積赤字が何十億もあるという事です。僕は、可燃ごみが有料化になったとき、何も考えずに「何でごみを出すのにお金いるんや」と文句を言ってましたが、しっかりと説明を読んでみると焼却処理に大変な経費がかかることと、焼却施設が老朽化の危機にある事を知りました。今までごみの分別も面倒臭かったけれど、分別することによって可燃ごみが減量し、将来新しい焼却施設が立つ手伝いにもなり、町全体が美しくなるんだと気付きました。

　次に気になったのは、病院のことです。僕には小さい妹がいるので、よく市立泉佐野病院を利用しますが、母から聞いた話しでは、先生の数も減ってきているし、無くなっている科も多いので困るとか、予約していても二時間位待たされるのが当然の様になっているそうです。病人が何時間も待たされるのは、とても辛いことだと思うので何とか先生の数が増えて改善されていけばいいのにと思いました。それと市民病院のある、りんくうや他の場所には使われていない土地や建物がたくさんあると思います。予算が問題ですが、せっかく泉佐野には関西国際空港があるのだから、全国や他の国の人達が訪れてくれるような施設が出来ればいいなと思います。

　最後に僕の通っている第三中学校は建替えをして頂き、現在、気持ちよく勉強する事ができています。まだまだ他の小・中学校では老朽化で困っている所もあると思うので、自分が社会人になったときには泉佐野に住む未来の子供達が明るい環境の中で勉強できるように協力していきたいと思います。